

(部署名：船形コロニー)

		改善を求められる点と改善策
1	改善点	○利用者の理解を促す取組み 施設における運営方針や事業計画等に関し、家族や利用者に対する説明や周知に関しては、一部文書にルビをふる等の工夫は行なわれているが、充分とは言えない面がある。内容が利用者が理解するには難しいからといった事で、省略せず利用者の状態に応じた工夫を行い理解を促す取組みを行なって行くことが望まれる。
	対策	年度当初の面会日において、運営方針及び事業計画等を代理人に説明周知するとともに、参加出来なかった代理人へも郵送し、併せて広報誌にも載せることで周知をしていきます。 利用者の自治会総会で利用者ができるだけ理解できるような言葉や書面にて説明周知していきます。利用者への説明はわかり易い言葉で説明したものを掲示し、あわせて自治会集会・各係集会で説明を行います。
	期限	平成30年度の6月まで、周知・説明の取組みを行っていきます。同じく、利用者の新規入所時にも説明を行います。
2	改善点	○職員との課題の共有 今回行なった全職員を対象にした自己評価、及びアンケートから、管理者と職員との共通の理解に関し、一部ではあるが充分に進んでいない面が見られる。施設での運営等に関し職員の関心が薄い面や、管理者の意思が十分に伝わっていない面が見られ、今後更に、職員との理解の共有を図っていく取組みが望まれる。
	対策	年度当初の職員会議において、運営方針や事業計画等を説明するとともに参加できなかった職員には随時説明する機会を持ち、共通理解のもと事業を推進していきます。また、主査レベル(中堅職員)会議の開催や、課題共有(周知目的)の為に係会議の回数を増やし開催していきます。また、必要に応じて、管理者や監督職員が会議に出席します。 職員との理解の共有を図るため、管理者が個別面談等を実施し職員ひとりひとりの理解促進に取り組んでいきます。
	期限	平成30年度を通して取組み、理解の共有・意思の疎通を図っていきます。継続的な取組が必要であり、次年度以降も継続して取り組んでいきます。